



協力隊体験談

隊次：2023年度2次隊

職種：コミュニティ開発

名前：高田優佳

1. 自己紹介
2. ベトナムについて
3. 活動
4. 大変だったこと
5. うまくいったこと

自己紹介



名前：高田優佳（たかだゆうか）

派遣国：ベトナム・ムーカンチャイ

職種：コミュニティ開発

派遣期間：2023年10月～2025年10月

自己紹介

経歴：

- 小学校1年生から英会話スクールに通い始める
- 小学校6年生の社会の授業でJICA海外協力隊について知る
- 高校2年生で初めてアメリカへ／約1ヶ月ホームステイを経験する
- 大学は外国語学部英語学科へ進み、国際関係と観光を学ぶ
- バイト代を貯めて海外に行きまくる、休学してカナダでワーホリを経験する
- 新卒で協力隊を目指すも、コロナで選考が中断し、一旦諦める
- 創業間もないベンチャー企業に入社し、2年間勤務する
- 社会人2年目の時、協力隊に再挑戦し、合格をもらう



任地と要請内容について（ベトナム・ムーカンチャイ）

ハノイからバスで7時間半。地域住民の9割がモン族。郡内の棚田は国家特別遺跡に指定され、美しい棚田がある場所として知名度を高めてきた。**棚田以外の観光資源の開発が遅れていて、地域振興や知名度向上に向けた取り組み、商品販売など更なるマーケットの開拓がニーズにある。**





ムーカンチャイのモン族



モン族のろうけつ染め

活動①少数民族の文化をアクティビティを通して体験し、文化の発信と文化継承に繋げる活動

モン族のろうけつ染め（染め物）文化を観光アクティビティの一つとして体験できるように、仕組み作りや体験のサポートを行っている。

- ・マニュアルやPOPなどの資料作成
- ・ゲスト体験時のフォロー
- ・ハノイでのワークショップ開催
- ・Facebookページ（予約窓口、情報発信）

マニュアルやPOPなどの資料作成

How to do Batik



①下書き (5分)
 () に爪をグッと押しつけ布に跡をつける。
 *まず縦横に4等分すると綺麗にできます



② 縦置き・内枠 (10分)
 重線ペンで枠を描く。
 ● と ● を線で繋ぐように () に線を置いていく。
 *布を回して、常に上から下の動きをするのがコツです



③ 縦置き・外枠 (5分)
 周りを囲うように線を置いて外側の枠を作る。
 *長めの線はペンを素早く動かすと真っ直ぐ描けます

How to do Batik



④ 縦置き・模様 (30~40分)
 枠の中に模様や絵を自由に描いてデザインしてみましょう。
 *重線を置いたところは色が染まらないので白く残ります



モン族の模様にはそれぞれ意味があります。込めたい意味や好きな模様をデザインしてみてください。
 *模様のスタンプもあります



⑤ 染色
 泥を水に溶かした染料に布を通します。「乾かす・洗ける」の作業を40~50回繰り返して染めていきます。



⑥ 縦置きとし、乾燥
 色が十分に染まったら、布をお湯に通して線を落とします。布を乾かしたら完成です。

Patterns and stories



・家族の繁栄 (カタツムリ)
 モン族の家族やコミュニティの繁栄を祈る願いが、湯が続くカタツムリに例えられて表現されています。



・女性の強さ、苦労 (Mong)
 モン族の麻を織る。麻を育てて布にするまでは女性の大事な重労働。女性の強さや、女性が担う仕事の苦労や苦難が表現されている。



・豊穡 (シダ)
 シダは葉としても豊穡を追い払うためにも使用される植物。モン族は豊穡が家の中に入るのを避けるためにシダを育てている。



・モン族のシンボル (太陽、山、民族衣装)
 民族衣装のベルトに描かれる代々受け継がれてきた模様。太陽、山、民族衣装のアクセサリなど、モン族の日常を表現している。



・夫婦の愛 (月と星)
 中央は月でその周りに散りばめられているのが星。夫婦の愛が開花する月と星をイメージしたモチーフ。

(写真: MS Fine Arts / Dân tộc mông)

ゲスト体験時のフォロー



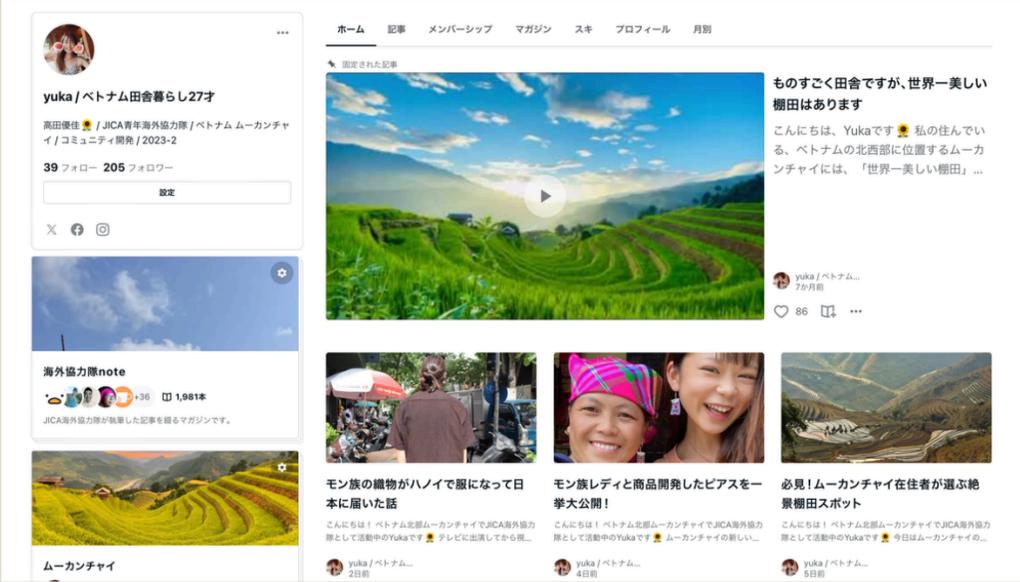
ハノイでのワークショップ開催



Facebookページ (予約窓口、情報発信)



活動② 旅マエ、旅ナカに着目し、外国人観光客の増加に向けた改善活動



NOTEでの情報発信

- 自身のブログやSNSを通じた情報発信
- 観光マップの作成



ムーカンチャイ棚田スポットMAP



ムーカンチャイの歩き方

ムーカンチャイの観光情報を発信中！



メニュー



メニュー

活動③ 新たな土産商品の開発による現 地民の収入向上



製作風景

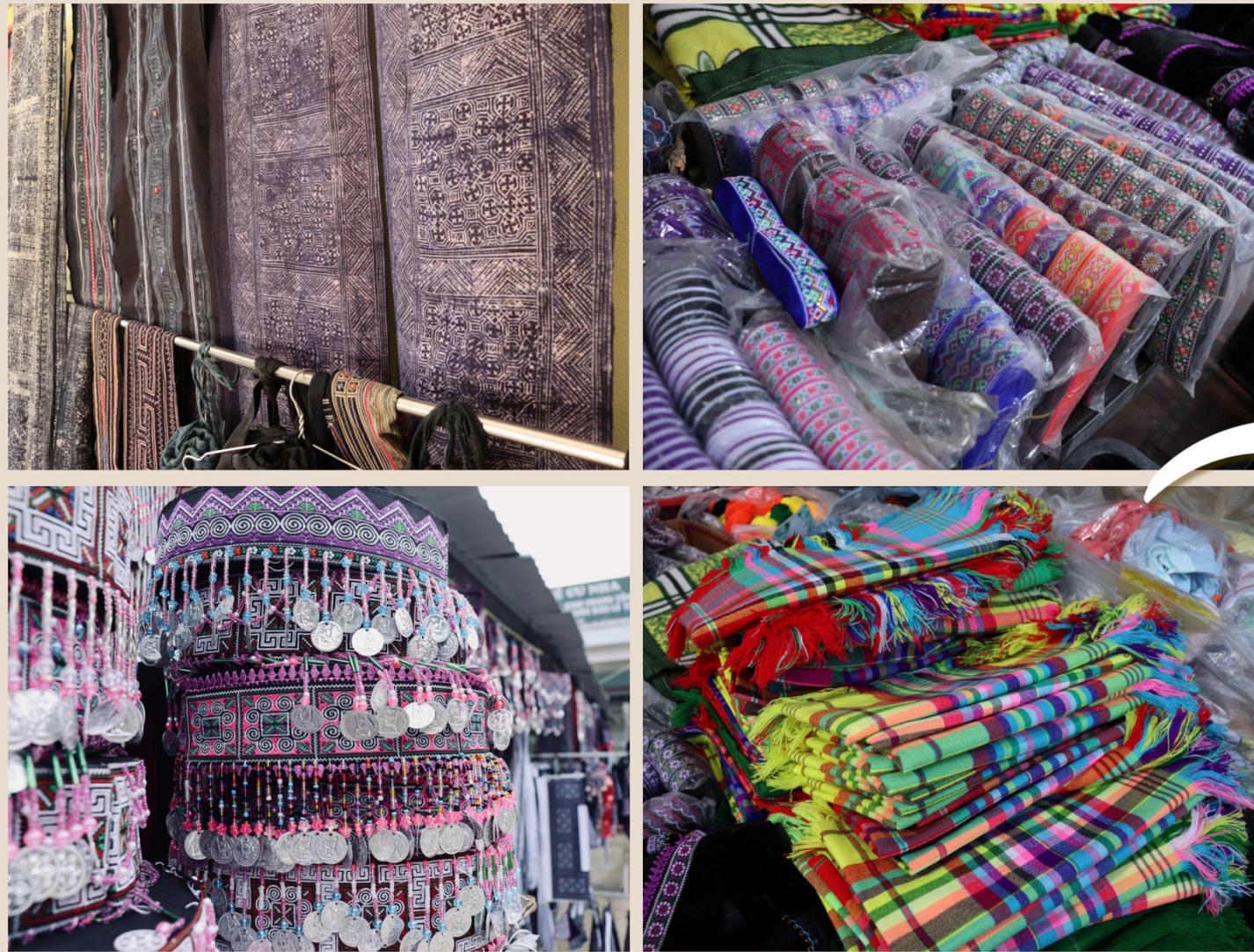


モン族の織物を取り入れたピアス

現地民の生活用に販売されている**織物商品**をお土産という新たな形で販売し、新たなマーケットの開拓や現地民の収益向上を図っている。

- ・ 商品開発
- ・ マーケットの拡大

モン族の織物や民族衣装



織物や民族衣装を利用した お土産商品の開発



観光客にも買ってもらいたいけど
なかなか手に取ってもらえない

大変だったこと

- **異文化理解**

私が受け入れるのは簡単、相互理解は求めすぎ？

- **語学の壁**

ベトナム語だけじゃない、現地語モン語の存在

- **時間感覚、優先順位、スピード感の違い**

〇〇までにやろうねと計画を立ててもうまくいかない

- **質の担保**

国が違えば「綺麗」の感覚も違う



うまくいったこと

- 地道な人間関係作り（ひたすら通う、褒める、マンパワーになる）
- 宇宙人になったつもりで異文化を受け入れると逆に受け入れてもらえるように
- いまだに現地ベースで継続している持続可能（？）な開発
- 自分が任地のファンになって、好きなものをもっと広めたいと本気で思えたこと



ありがとうございました！

